

9月に行われたイベントなどについて お知らせします



果敢に攻め込む古橋選手



試合後に行われたセレモニーで
ファンへあいさつする選手たち

9月19日(土)、H.C.栃木日光アイスバックスは、日光霧降アイスアリーナで東北フリーブレイズとの今季初めてのプレシーズンゲームを行いました。

観客は検温して入場し、間隔を空けた客席でマスクを着用し観戦するなど、例年とは異なるアリーナの様子となりました。

試合は、1対5で敗れてしまい

ましたが、熱い戦いを繰り広げた選手に観客から多くの拍手が送られました。

アイスバックスのレギュラーシーズン(今年は国内5チームによる「ジャパンカップ」を開催)のホーム開幕戦は10月24日(土)から始まりました。皆さんも新型コロナウイルス対策をして、会場に足を運び、熱い応援をしましょう！

日光アイスバックスプレシーズンゲーム

にこっパンプロジェクト

9月13日(日)、市内の食堂や菓子店40店舗がそれぞれ考案したオリジナルコッパンを販売するイベントが開催されました。

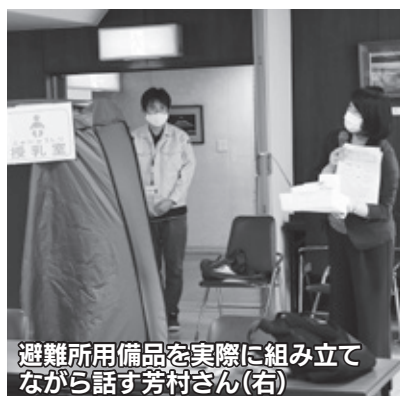
日光青年会議所が「自粛ムードから街に活気を取り戻そう」と企画。当日は各店行列ができる盛況ぶりで、店舗前で笑顔でほおばる購入者の姿も見られました。



コッパンを手にして「にこっ」

男女共同参画セミナー (日光・足尾地域)

9月30日(水)、日光総合会館で「男女共同参画の視点で取り組む防災」と題してセミナーを開催しました。防災士でもある、とちぎ男女共同参画財団の芳村佳子さんは「平時から男女共同が進んでい



避難所用備品を実際に組み立てながら話す芳村さん(右)



淹れたてコーヒー

アイデア木工品

炭のオブジェ

石窯ピザ

9月27日(日)、道の駅日光・ニコニコ広場で、新型コロナウイルスの影響で開催を中止していた「プレミアム・マルシェ」が7カ月ぶりに開催されました。プレミアム・マルシェは、見た目や味、コストパフォーマンスなどの審査項目をクリアした店舗のみが出品できる「プレミアム」な「マルシェ」です。25回目となる今回は、出店

道の駅日光プレミアム・マルシェ

数を減らすなど、感染予防対策を行いながらの再開となりましたが、秋空の下多くの観光客や買い物客がこだわりの雑貨を手に取り、できたてグルメに舌鼓を打っていました。

市内から訪れていた宮野さんは「おいしいピザやコーヒーを、また楽しむことができてうれしいです」と話してくれました。



アツアツのピザをパクリッ



小林酒造からの寄贈

8/17

小山市の酒造メーカーである小林酒造株式会社から消毒用アルコール500ミリリットル、180本が寄贈され、小林正樹専務取締役から大嶋市長に手渡されました。



市長へ渡された消毒用アルコール

提供：商工課

贈られた消毒用アルコールは、市内小中学校に配布され、児童生徒たちの感染防止対策に活用されています。

明治安田生命保険相互会社からの寄付

8/25

明治安田生命宇都宮支社今市営業所から、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた社会貢献の取り組みとして、43万5,400円の寄付があり、藤原丈二営業



市長へ目録を渡す藤原営業所長(左)

提供：総合政策課

所長から大嶋市長に寄付金の目録が手渡されました。寄付金は、今後の感染防止対策や地域経済・市民生活の支援のために活用されます。

日光国立公園縦断チャレンジ

8/28~31

山岳ランナーの星野由香理さん(所野)が日光国立公園内の山々245kmを4日間かけて走破する挑戦をしました。福島県甲子山から那須岳を越え、日光市に入り、男体山山頂を越えた約230km地点で悪天候により終了となりましたが、多くの方の支えで4日間走り続けることができました。



男体山を目指す星野さん

提供：星野由香理さん

篠井村役場跡記念碑等管理委員会の設置

9/3

塩野室地区自治会長会と宇都宮市の篠井地区ゆたかなまちづくり協議会の役員が、篠井村役場跡記念碑等管理委員会を設立し、交流活動を行いました。かつて「篠井村」として一つだった2地区が自治体の垣根を越え、「役場跡記念碑」および「旌忠碑」を継続的に管理・保存していくことになりました。



篠井村役場跡記念碑等管理委員会の会員の皆さん

提供：塩野室地区センター

認知症啓発のためのライトアップ全国中継

9/21

「にっこう認知症・若年性認知症の家族の会」がライトアップされた神橋でインターネットのライブ配信を行いました。公益社団法人「認知症の人と家族の会」が認知症啓発のために実施したもので、にっこう認知症・若年性認知症の家族の会は、神橋の説明と団体の活動内容を全国に紹介しました。



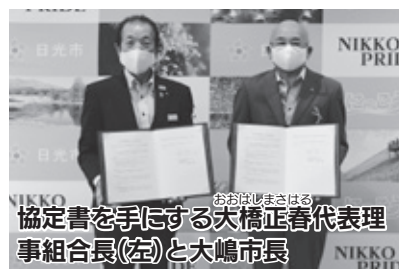
にっこう認知症・若年性認知症の家族の会の皆さん

提供：高齢福祉課

JA かみつがとの包括連携協定の締結

9/25

JA かみつがと市は、農業振興だけでなく、市の社会経済の発展や地域のさらなる活性化のための包括連携協定を締結しました。JA かみつがのネットワーク



協定書を手にする大橋正春代表理事組合長(左)と大嶋市長

提供：総合政策課

による災害時やNPO活動への農産物の提供など、協定の効果を最大限に生かし、連携を図り、「強く・優しい・人が輝く日光」を目指します。